



いきいきふるさと

発行/古里住民自治協議会 発行者/金子 祐三 編集/広報委員会 第67号

「ようこそ市長室へ」市長との懇談

活力と魅力ある個性的で住みよいまちづくりを目指し、市長と市民が意見を交わす「ながの未来トーク」は、2年に1回を目安に開催されています。

古里住民自治協議会は、令和2年度に「ながの未来トーク」を実施し、今年度は市長との懇談「ようこそ市長室へ」を実施しました。

8月18日(水)午後1時30分から55分間にわたり市役所の市長応接室において、市長・関係部課長と金子会長他役員5名及び古里支所長が出席し懇談を行いました。



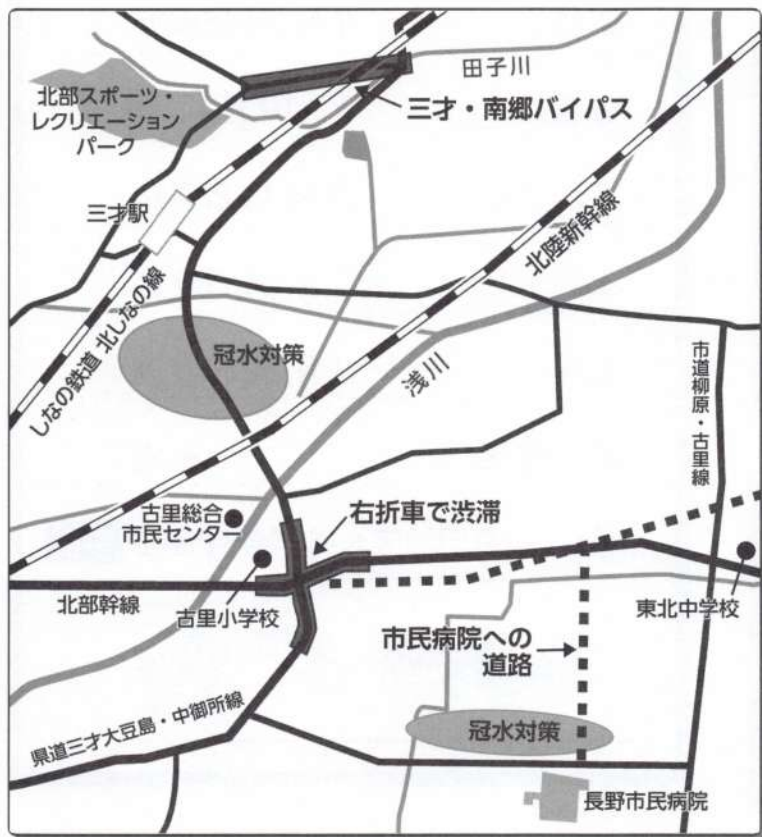
加藤市長(中央奥)との懇談会

《「誰もがこの地に住むことに誇りを感じ夢と希望が持てる地域づくり」を目指して》

をテーマとして

- ① 古里地区の安心安全な地域づくりについて
- ② 古里地区の周辺道路整備等について

の2項目について懇談しました。



この中で①について、特に昨年度改定した「安心安全防災マップ」をいかに住民の皆様浸透させるか、また「富竹・上駒沢地区の排水対策」について意見交換を行いました。

②については、特に北部幹線開通後の古里小学校前の交差点の混雑解消のために、早期の先線の建設とともに右折レーンの設置について意見交換を行いました。

金子会長からは、北部幹線開通のお礼とともに、市内とのアクセスも格段に向上しているが、一方で課題も発生しているので本日はこれらを含めて意見交換をさせていただく旨の発言があり、最後に加藤市長からは本日の意見交換した事項はすぐに解決できるものではないが、少しずつ進めていきたい。また、災害時の要支援者対策としての上駒沢区の取組は他の地域につなげていきたいとのコメントがあり、有意義な懇談会となりました。

令和3年度 古里住民自治協議会防災訓練実施

…情報収集に基づく救出・救護・消火訓練に各区自主防災会など約150名参加…

令和3年度の古里住民自治協議会防災訓練を、8月28日(土)に実施しました。本年は、新型コロナウイルス感染防止のため、市民センターの災害対策本部への参集者を最低限として、各区は公民館等に現地災害対策本部を開設し、情報伝達訓練のみを行いました。

情報伝達訓練では、各区の現地災害対策本部と簡易無線機で情報交換を行うとともに、今年も昨年と同様にアマチュア無線クラブ「ネット古里」と連携した情報交換を行いました。

情報伝達訓練の必要性和重要性を改めて気づかされるとともに、今後とも、より実践的な訓練を重ねていくことを確認した次第です。



古里地区災害対策本部



情報伝達訓練ではアマチュア無線クラブ「ネット古里」と連携



同報無線操作訓練(上駒沢区)



リヤカー・車椅子による避難訓練(下駒沢区)

各区の自主防災訓練日程

富竹区 …… 9月25日実施

金箱区 …… 10月17日

下駒沢区 …… 7月11日実施

上駒沢区 …… 9月26日実施

三才区 …… 8月22日実施

西三才区 …… 未定

第二、新町団地区合同・~~10月3日~~中止



「社会を明るくする運動」住民集会講演会



「社会を明るくする運動」住民集会講演会

7月は「社会を明るくする運動」～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～を育てる活動を推進する全国協調月間として、今年は第71回目になります。

この強調月間に合わせ古里住民集会の講演会を、去る7月17日「更生保護と社会を明るくする運動」と題して長野保護観察所長の村木康弘様にご講演をいただきました。

村木所長は今年の4月より長野所長にご就任されましたが、平成4年に法務省に入省以来一貫して保護観察の業務に携わり、全国の保護観察所でご活躍されてこられました。

公演は、第1部「更生保護について」 第2部「社会を明るくする運動について」のそれぞれの活動状況についてご説明いただきました。いずれの活動においても、ともに立ち直りを支えあう「地域のチカラ」が重要であり、一人ひとりができることから実践することにより、地域のチカラを育てることにつながるということを考えさせられた講演会でありました。

講演会は、コロナ感染症拡大を防止するために会場の入場制限もあり、住自協の役員を中心に約60名の皆様に参加いただきました。終了後の質疑応答でも複数の質疑もあり、関心の高さも感じさせる講演会でした。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



長野保護観察所・村木所長の講演

支部事業 上駒沢区小福祉懇談会

近年日本各地で起きている災害で、上駒沢区ではいつ発生するかわからない地震、水害などの災害に備え、区民同士の支え合いについて、災害想定に基づきグループ毎に討議し発表する形式の小福祉懇談会を毎年開催しております。

新型コロナウイルス感染症防止のため例年90名程の参加者ですが、60名弱の各関係役員でコロナ感染対策をきちんとし、今年も区独自の世帯調査を基にし、支援を要望している人(要支援者)に対して、常会、近所の人に支援者を決めて災害時に安否確認、避難場所への誘導等考えられる支援活動についてグループ討議し確認しています。

毎年、やり方は同じですが、役員が毎年替わるため継続して実施する事でより多くの区民に参加していただくことができ、支援活動に対する理解と「近助」「共助」の支え合い活動の認識が広まっています。

個人情報ですので取り扱い方や、支援者の対応等課題はありますが、要支援者への取り組みについて、情報共有化ができ具体的な行動が示せることがメリットと考えております。

継続こそが、災害時に備えることが出来る最大の強みであります。



小福祉懇談会を開催

上駒沢区支え合いの流れ

全世帯調査
(支援を希望する者の把握)

↓
小福祉懇談会
(常会毎の近隣支援者の選定)

↓
本人同意
(近隣支援者の決定)



長野市元気なまちづくり市政出前講座開催

令和3年7月7日(水)19時より、環境整備委員会主催による「令和3年度長野市元気なまちづくり市政出前講座」が古里総合センター多目的ホールで開催されました。

講師には、長野市環境部生活環境課山崎学課長補佐をお迎えし各地区の環境美化推進長を中心に23名の方が参加されました。

今回、テキストにより説明をいただきました。

- ① 資源物とごみの出し方
- ② ごみ・資源物の分別とリサイクルについて



市環境部生活環境課・山崎学課長補佐

<講座名「ごみ・資源物の分別とリサイクル～8分野」>

①プラスチック製ごみ

商品を入れていたもの(容器)や商品を含んでいたもの(包装)でプラスチック製ごみ製のもの対象

注意! 固いプラスチック製品(商品そのもの)は不燃ごみ

②ペットボトル

飲料、酒類、醤油、醤油加工品、みりん風調味料、食酢、ノンオイルタイプのドレッシングなどのプラスチックボトル

注意! フタ・本体・ラベルのどちらにもペットマークがあるかを確認



容器や包装はプラスチック製ごみ

③可燃ごみ

資源にならない紙、ゴム製品、やわらかいプラスチック製品、皮製品、布類、木製品、生ごみ、汚れが落ちないプラスチック製容器包装

注意! 指定袋以外の袋やダンボール箱などに入れたものは、粗大ごみシールの有無に関係なく収集しません。



商品そのものは不燃ごみ

④不燃ごみ

金属製品、陶磁器・ガラス器、家電製品、硬いプラスチック製品(エアコン・テレビ・洗濯機・冷蔵庫・衣類乾燥機・パソコン出せません。)

注意! 指定袋以外の袋やダンボール箱などに入れたものは、粗大ごみシールの有無に関係なく収集しません。

⑤その他

缶:中を軽くゆすいで汚れ・油分を落としてから出す。
スプレー缶・カセットボンベ:穴を空ける。

西三才地区育成会事業 朝のラジオ体操

新型コロナウイルス感染症の中で、連日の猛暑にもたくさんの子供たちと保護者の皆様、各役員の参加いただきました。感染予防の対策を取り短い時間の間でも、ラジオ体操をとうして有意義な場と楽しいひと時になりました。期間は7月26日～7月30日 5日間の事業でした。

